

身体障害者通所授産施設 知的障害者通所授産施設

身体障害者小規模通所授産施設 知的障害者小規模通所授産施設版

事業プロフィール

1. 事業所名 :

2. (1) 運営主体(法人名等) :
(2) 設置主体 :

3. 事業所所在地 :

4. 事業所の長の氏名(施設長等) :

5. 連絡先
Tel
Fax
Eメール
ホームページ

6. 同一運営主体が同じ敷地内で連携して実施している主な福祉・医療サービスを利用者数からみて上位5つ以内(例 . ショートステイ、デイサービスなど、評価対象事業を含む。)
 - 1)
 - 2)
 - 3)
 - 4)
 - 5)

7. 同一運営主体が同じ敷地内で連携して実施している全事業のうち、今回の評価対象サービス事業が占める割合
収入面でみて 約 _____ %
職員数でみて 約 _____ %(非常勤は常勤換算)

8. 当該事業の開始時から現在までの重要な変遷 (制度改正に基づくもの含む)
 - (1) 開始時期 年 月
 - (2) 重要な変遷

9.理念・方針

事業所が大切にしている考え(事業所の理念・ビジョン 使命など経営 運営方針)のうち、特に重要なもの(上位 5つ以内)を簡潔に記述

- 1)
- 2)
- 3)
- 4)
- 5)

10.サービス提供の考え方について記述 (日々の業務の考え方、利用者ニーズに合わせた施設独自の取組、利用者や家族との関係、地域との関係を含む)

11.期待する職員像

(1)職員に求めている人材像や役割

(2)職員に期待すること (職員に持って欲しい使命感)

12.職員の状況

(1)常勤職員数 _____人

非常勤職員数 _____人(常勤換算 _____人)

(計算式:非常勤職員のそれぞれの勤務延べ時間数の総数÷当該事業所の常勤職員が勤務すべき時間数)

(2) 専門職員の人数

医師		調理員			

14. 3年後の見通し(以下のどれかに をつける)

- 1) 利用者数の増加を見込んでサービス提供能力を拡大する計画がある
- 2) サービス提供能力を拡大する計画はないが、ほぼ現在のサービス提供能力に見合う利用者数は維持できると思う
- 3) 現在の利用者数を維持するのは余程経営改善・サービス改善をしていかないとかなり難しい情勢になっているのではないかと思う
- 4) その他()

15. 評価対象としているサービス事業に関して事業所として力を入れて取り組んでいる点を、人的サービス面と設備面に分けて、重要な順に各3つ以内で記述

人的サービス面

- 1)
- 2)
- 3)

設備 環境面

- 1)
- 2)
- 3)

16. 経営に影響を与えていると考えている事業環境の変化を記述 (制度改正を含む)

17. 評価対象としているサービス事業を維持・向上させていくためにこれから何をしていかなければならないかについて、重要な順に3つ以内で記述

(例 .経営改善への職員の参画、職員の能力開発、後継者の育成、給与制度の改善、事業者間交流、入浴設備の拡張など)

- 1)
- 2)
- 3)

18. 定員および現在の利用者

(1)定員_____人

(2)前年度の稼働率(延べ利用者数 / 定員 × 365日)約_____%

新規の申込者が1年以内に利用できる可能性

(前年度の退所者数 ÷ 現在の待機者数 × 100) _____%

(3)前年度の入退所者数

入所 _____人

退所 _____人

主な退所理由 1. _____ (人)

2. _____ (人)

3. _____ (人)

(4)平均通所期間

_____年 月

(5)現在の利用者の状況

現在の利用者数 _____

男女比 男性 _____ % / 女性 _____ %

平均年齢 _____ 歳

日常生活動作等の状況

	食事介助	排泄介助	入浴介助	着脱衣介助
一部介助				
全部介助				

障害の状況

1)知的障害者

1.愛の手帳 1度 _____人

2.愛の手帳 2度 _____人

3.愛の手帳 3度 _____人

4.愛の手帳 4度 _____人

2)身体障害

1.視覚障害

2.聴覚障害

3.平衡機能障害

4.音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害

5.肢体不自由(上肢、下肢、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害)

6.肢体不自由(体幹)

7.内部障害(心臓・じん臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸の機能の障害・免疫の機能障害)

8.手帳なし

3)その他の利用者

車椅子を常時使用している人_____%

(計算式:車椅子を常時利用している人数÷現員数×100)

利用者の住所(区市町村)で多いものを上位2つ記述

(計算式:入所者の多い区市町村から入所した利用者数÷現員数×100)

1. _____ (%) / 2. _____ (%)

通所方法

	通所方法	人数
自力で通所が可能な者	徒歩で通所	
	電車・バス等	
	自転車	
	その他	
通所に介助を必要とする者	家族による送迎	
	施設所有バスによる通所	
	その他	

趣味の活動が行われている場合は、その活動に参加している人_____%

(計算式:趣味の活動参加人数÷現員数×100 一人の利用者が複数の趣味の活動に参加している場合も参加人数1名として計算する)

19.施設の状況

(1)食堂の状況

食堂の数_____カ所

定員1人当たりの食堂面積_____㎡/人

(2)建物等の状況

建築(含大改築)後の経過年数_____年

建物の形態(_____ 階建)

授産施設の使用階数(_____ 階 ~ _____ 階)

3年以内の大改築計画の有無 1.有 2.無

(3)立地条件

交通の便

_____ 駅から 徒歩・バス・その他(_____)で _____ 分

バス停 _____ から 徒歩 _____ 分

